

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	町民へのホームの認知度を高め、行事のみではなく、日常的な地域住民との交流の検討が必要。	地域の方に来てもらうばかりではなく、こちらからも地域行事に出むき、ホームを知ってもらい日常的に交流を持つ。	来年は、地域の保育園や小学校の行事等早めに聞いて、見学させてもらえるようお願いしていく。年間行事の見直しもしていき、地域の方が気軽に立ち寄れる関係性を築いていく。	8ヶ月
2	4	会議の開催時間の設定や参加者の見直しを行い、施設に取って重要な会議である事をもっと理解してもらい、より多くの方に施設の取り組みを周知して頂けるようにしていかないといけない。	運営推進会議がとても重要な会議であることを伝え、会議で決まったことを取り組み質の高いサービスが提供できる様にしていく。	運営推進会議のメンバー構成についての見直しを早急に行い、地域の方に参加をしてもらうようお願いしていく。	3ヶ月
3	6	2Fユニット入口に鍵をかけていて、委員会等で毎月検討は、行っているが日中開放することが、ほぼ出来ない。	2Fユニット入口を開放し、立ち寄りやすい施設にしていく。	家族様の面会時など、来られたときには開放にして様子を見ていく。お客様の状態を見ながら、開放する時間を増やしていくようにする。	10ヶ月
4	23	希望ノートを作成しているが、活用がなかなか出来ておらず、活用方法の工夫が必要。	お客様1人ひとりの思いや希望を把握し、個々に実施出来るよう支援する。	ユニットミーティングで、希望ノートをもとに企画を考え、実施していくようにする。	5ヶ月
5	35	防災訓練は年2回行っている。災害時の地域住民との具体的な協力体制も確立していくことが必要。	災害時、地域住民との具体的協力体制を築いていけるようにしていく。	運営推進会議で話をしていき、町の担当の方に、日野地区の系列施設を知って頂き、災害時の協力体制を具体化していく。	10ヶ月
6	49	状態にもよるが出来るだけ多くの入居者の方に外出の機会を設けて行くことが必要。玄関前の、砂利道の整備も考えていけないといけない。	お客様に出来るだけ、外出してもらおう機会を作り支援していく。	時間を作り、行事ばかりではなく、近くに散歩に出かけたり、ドライブなど計画を立てる。砂利道は、今後検討していく。	6ヶ月